

カキ生育情報

第 8 報
千葉県農林水産部
令和 5 年 12 月号

本年は収穫が早く始まり、果実の大きさは平年並みで、糖度は「松本早生富有」は高い傾向でした。落葉後から発芽前までに整枝・せん定を実施しましょう。また、うどんこ病、落葉病、発芽前の3月中下旬、カイガラムシ類は休眠期の12～2月がそれぞれ防除適期となります。

1 1年間の気象

令和4年12月から令和5年11月の月別気象を表1に示した。月平均気温は令和5年2月～11月は平年より高く、他は平年より低かった。1年間の平均気温は17.6℃で、平年より1.4℃、前年より0.8℃高かった。

降水量は令和5年2月、6月、8月及び9月が平年より多く、他は平年より少なかった。1年間の合計は1,658mmで、平年の90%、前年の95%であった。

日照時間は令和5年1月、2月及び6月が平年より少なく、他は平年より多かった。1年間の合計は2,327時間で、平年の117%、前年の110%であった。

表1 令和4年12月～令和5年11月の気象（館山観測所）

年 月	気 温(℃)			降 水 量(mm)			日 照 時 間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
R4 12	8.4	8.9	9.4	89	91	138	179	164	202
R5 1	6.3	6.4	5.7	47	86	33	162	177	191
2	8.4	7.0	5.8	130	82	107	151	155	170
3	13.2	10.1	11.6	148	161	87	170	165	180
4	16.5	14.5	15.5	135	156	260	207	179	157
5	19.0	18.5	18.7	145	153	240	206	185	183
6	22.7	21.5	22.3	220	212	192	129	135	166
7	26.8	25.2	26.6	49	179	198	274	179	189
8	28.5	26.7	27.2	113	103	94	279	216	206
9	26.7	23.7	24.9	298	222	139	192	153	158
10	18.8	18.6	18.0	200	258	128	202	137	145
11	15.5	13.7	15.3	84	144	130	176	147	163
平均/計	17.6	16.2	16.8	1,658	1,847	1,746	2,327	1,992	2,110

平年値：2021年5月より、気象庁の方法と同じく1991～2020年の30年間の平均値

2 12～5月の作業

1) 整枝・せん定

整枝、せん定は落葉後から発芽前までに、凍害の危険性のある場所は厳寒期を過ぎてから実施する。結果母枝の充実度を確認したうえで、結果過多にならないように留意し、間引きせん定を中心に行い、切返しせん定による枝の更新も行う。特に unnecessary 徒長枝及び軟弱枝はすべて取り除き、病害虫多発園では密集した枝を風通しのよくなるように適宜間引く。

2) 摘 蓄

開花10日前～開花直前（5月上中旬頃）に行う。摘蓄は樹体の消耗を抑え、大果及び高品質果生産と隔年結果防止の効果がある。着蓄量が少ない場合は、小花、奇形花は落とすが、着蓄量を確認しながら過度に行わないようにする。着蓄量が多い場合は、充実した花蓄を1結果枝に1蓄残すように摘蓄する。

3) 病害虫防除

落葉の処分と粗皮削りは、病害虫の越冬源を絶つために防除効果が高い。うどんこ病、落葉病、黒星病の予防は、発芽前の3月中下旬が、カイガラムシ類の多い園では、休眠期の12～2月がそれぞれ防除適期となる。また、展葉期の4月下旬は、うどんこ病、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ及びチャノキイロアザミウマの防除適期である。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

3 本年度産果実の特徴

本年産のカキの生育状況を振り返ると、3月、4月の気温が平年より高かったため、発芽期、開花期は平年より早かった。梅雨明けが7月22日で平年より3日遅く、その後高温で日照時間が多く果実の肥大は進んだ。9～10月は雨量が平年並みで、果実の大きさは平年並であった。生理落果は平年並みで、炭疽病、汚損果及びカメムシ類による被害果は多かった。

1) 収穫期

暖地園芸研究所（以下暖地園研）における収穫期を表2に示した。収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「西村早生」が9月7日、15日、10月6日、「松本早生富有」が10月11日、27日、11月15日、「富有」が10月15日、11月5日、21日であった。始期は平年より「西村早生」が9日、「富有」が5日早く、「松本早生富有」は1日遅かった。盛期は平年より「西村早生」が11日早く、「松本早生富有」は5日遅く、「富有」は同じであった。終期は平年より「松本早生富有」が10日、「富有」が7日遅く、「西村早生」は同じであった。

市原市の「松本早生富有」の収穫始期、盛期及び終期は、それぞれ10月3日、18日、25日で、前年より始期は1日早く、盛期は6日、終期は5日遅かった。

表2 収穫期（月/日）（暖地園芸研究所）

半旬	収穫始期			収穫盛期			収穫終期		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	9/7	9/16	9/3	9/15	9/26	9/6	10/6	10/6	9/30
松本早生富有	10/11	10/10	9/28	10/27	10/22	10/1	11/15	11/5	10/19
富有	10/15	10/20	9/28	11/5	11/5	10/10	11/21	11/14	10/23

平年：1997～2022年の平均

但し：2019年は9月の台風により果実が落果したため、調査できず欠損値

2) 果実の品質

収穫果実の大きさ、糖度、へたすき及び汚損果程度を表3に示した。1果平均重は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ200g、231g、「富有」が272gで、それぞれ平年の103%、101%、108%、前年の118%、109%、130%であった。糖度は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ13.1、16.9、「富有」が14.9で、「西村早生」は平年より1.5、前年より0.7低く、「松本早生富有」は平年より1.3、前年より1.6高く、「富有」は平年より0.5低く、前年より0.5高かった。へたすきの発生は「西村早生」が前年と同程度、「松本早生富有」及び「富有」は前年より多かった。汚損果程度は「西村早生」、「松本早生富有」及び「富有」が前年と同程度で

表3 果実の大きさ及び品質

品 種	調査地	1果平均重(g)			糖度(Brix)			へたすき		汚損果程度	
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	前年	本年	前年
西村早生	いすみ市	219	194	188	11.8	14.4	13.4	—	—	—	—
	暖地園研	180	195	151	14.3	14.8	14.1	微	微	少	少
	平均	200	195	170	13.1	14.6	13.8	—	—	—	—
松本早生富有	市原市	171	212	215	18.2	16.0	16.3	—	—	—	—
	暖地園研	291	245	207	15.6	15.1	14.3	小	微	中	中
	平均	231	229	211	16.9	15.6	15.3	—	—	—	—
富有	暖地園研	272	251	209	14.9	15.4	14.4	小	微	中	中

へたすき：無、微、小、大、汚損果程度：無、少、中、多

平年：暖地園研は1990年～2022年の平均、いすみ市は1998年～2022年、市原市は1999年～2022年の平均

但し：2019年は9月の台風により果実が落果したため、調査できず欠損値

3) 病害虫の発生

暖地園研では、炭疽病の発生が平年と同程度みられ、樹上軟化する果実もみられた。果樹カメムシ類の発生が多く、被害果も多かった。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。